

第七十四回 帝國議會 貴族院 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ特別委員會會議事速記録第二號 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

昭和十四年二月二十二日(水曜日)午前十一時十五分開會

○委員長(子爵高橋是賢君) 是カラ會議ヲ

開キマス、昨日御要求ニナツタ參考書類ニ付テ藤原委員カラノ御要求ダケノモノガ今日配付ニナリマシタ、後ハマダ只今迄ノ處間ニ合ハヌサウデス、ソレカラ今一ツ參考ニシテ戴キタイト云フ希望ガアリマスガ、是ハ國民所得ノ異年ノ増加高デアリマス、是ガ出來レバ十年間位ノ年々ノ國民所得ノ増加高ヲ表ニシテ戴キタイ

○政府委員(松村光三君) 御承知ノ通り國民所得ハ昭和五年ノ國勢調査ノモノハ、政府トシテ公ニサレタ最後ノモノデアリマシ

テ、昭和十年ノ國民所得ノ調査ノ結果ハマダ公ニサレテ居リマセス、昭和五年迄ナンデゴザイマス、從ツテ最近ノ年々ノ國民所得ハ、政府ノ責任ヲ以テ、差上ゲルモノガナインハ遺憾デゴザイマスガ、何デシトラバデスネ、是ハ政府ノ方デナインデスケレドモ、本當ノマア參考ノ又參考ト云フ位ノ御承認ガ願ヘレバ、民間ノ團體や學者ナドノ研究シタモノヲ作成シマシテ御配リ致シマスガ如何デゴザイマセウカ、政府ノモノハ

昭和十年ノ國勢調査ハ非公式デアリマシテ、公ニ發表サレテ居リマセヌカラ……

○藤原銀次郎君 ソレデ結構デゴザイマス

カラ、是ダケ國債ガ累増シテ行クノダカラ、政府ノ方デ國民所得ガ是ダケ増加シテ居ルト云フコトヲ御調ニナツテ居ルカト思ツタモデスカラ、ソレデ其ノ御尋フスルノデアリマスガ、若シ松村次官ノ御話ノ通りデゴザイマシタソレデモ結構デゴザイマス

○政府委員(松村光三君) 承知致シマシタ

○藤原銀次郎君 ドウゾ政府ノ方デ、色々ナ分ガアルト思ヒマスガ、各調査團體ノ多少違ツテ居ル譯デアリマスガ、ソレデ結構デゴザイマスカラソレヲ一ツ

○政府委員(松村光三君) 承知致シマシタ、

昭和五年ノ國勢調査デ國民所得百六億ト云フノデ、昭和十年ハ我々ハ非公式ニ知ツテ居ルンデスガ、公ニサレテ居ラスモノデスカラ

○藤原銀次郎君 ソレハ昭和五年デハ何モ

ナラスノデス、公債ガ累増シテ來タト同時ニ國民所得ガドウ云フ風ニ殖エテ來タカト云フコトヲ見テ、公債不消化ノ懸念ガアルカドウカ、サウ云フコトヲ承知致シタイト

思ヒマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 今日ハ大藏大臣ハ衆議院ノ方ノ都合デ御忙シイサウデア

リマスガ、成ルベク都合シテ此ノ方ニ來テ戴クコトニナツテ居リマシテ、後刻御出デガアルサウデゴザイマス、其ノ時大臣ニ對スル御質問ハシテ戴キマシテ、是ヨリ御質問ゴザイマスナラバ御質問願ヒタイト思ヒマス

○河田烈君 是ハチヨット議事進行ニ付テ

伺ヒタイノデスガ、各項ヲ一項ツ、御質問致シマスカ、一括シテ中上ゲマスカ、順々ニデスカ

○委員長(子爵高橋是賢君) 政府委員ノ御

都合モアリマスシ、是カラ豫算分科會ガ始リマスト大分御忙シイダラウト思ヒマスノデ、其ノ都度當局ノ御方ニ御出デ願ツタ時ニ、ドレ是ノ順序ヲ附ケズ御質問ヲ願ツテハ如何カト思ヒテ居リマス

○河田烈君 大臣ガ御見エニナラスウチ

ニ、政府委員ノ方ニ、先ニ次官ニ細カイコトヲ伺ツテ宜シウゴザイマスカ
○委員長(子爵高橋是賢君) 宜シウゴザイマス

○河田烈君 此ノ十四年度ノ俗ニ赤字公債法案、法案ノ名ガ長ウゴザイマスカラ、略シテ赤字公債法案、此ノ公債額面ノ發行ノ仕方ハ、支那事變國債ノヤウニ、矢張り小額債券ハ依然トシテ御出シニナル御考デアリマセウカ、小額債券ヲ御出シニナル積リデアリマスカ

○政府委員(松村光三君) 支那事變公債ノ方ダケ、小額公債其ノ他ノモノヲ併セテ出シマシタガ、此ノ一般會計ノ方ノ八億九千萬ニ關シマスルコトハ、小額公債ハ出サナイ方針デアリマス

○河田烈君 サウナルト少シ離レテ來ルノデ、此ノ委員會ニカケラレテ居ル赤字公債法案ト違フノデ、甚ダ恐縮デスケレドモ、サウ云フヤウナ小額公債ハ御出シニナラス、支那事變ノ方ハ小額公債ハ御出シニナツテ居ルノデスガ、其ノ支那事變ニ關聯スルモノトシテ御許ヲ願ツテ置キタイノデスガ、

支那事變債券ノ發行額ノ内譯ハ、最近ノ所ハドノ位ニナツテ居リマスカ、今デナクテモ、御分リナラバ知ラシテ戴キタイト思フノデスガ、今度十圓券ヲ御出シニナルヤウデスケレドモ、二十圓券ガ幾ラ、五十圓券

ガ幾ラト、券別ノモノヲ、非常ニ御手間ガ取ルナラバ、急ギマセヌデスカ何時カ、此ノ委員會ニ直接關係ナイコトニナリマスノデ、恐縮デスガ、赤字公債ノ關係トシテ御知セテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松村光三君) 今迄發行シタ小額ノ内譯デゴザイマスカ

○河田烈君 左様デゴザイマス

○政府委員(松村光三君) 承知致シマシタ

○河田烈君 全ク偶然ト思フノデスケレドモ、此ノ赤字公債ガ七億九千萬圓ト云フコトニナッテ居リマスガ、丁度一般會計ノ公債費ノ利子其ノ他ノ諸掛リノ經費ガ、約其ノ位ニナッテ居ルヤウデゴザイマスネ、七億デアッタヤウニ思フノデス、サウスルト赤字公債額デ丁度一般會計負擔ノ公債費ヲ、ソレハ偶然デアラウト思ヒマスケレドモ、結果カラ見ルト、公債デ拂ッテ居ルト云フ形ニナルヤウデゴザイマス、是ハ全ク偶然トハ思ヒマスケレドモ、何ダカ形式カラ見ルト、如何ニモ公債費ヲ公債デ拂ッテ居ルト云フ形ガ、餘リ歷然ト見エルヤウナ氣ガスルノデスガ、是ハドウニモ仕様ガナイト仰シヤルナラバ、ソレキリノ話ナンデスガ、何カ關聯ガアリマスノデスカ、ソレハ全然偶然ノ結果デゴザイマスカ

○政府委員(松村光三君) 別ニ特ニ關聯ハナイト思ヒマスガ、從來ノ度重ナル増税ノ場合ニ於キマシテ、屢、議論ノ重點ニナルノデスガ、尠クトモ公債ノ利子ヲ公債ヲ以テ賄フト云フ形ハ、ソレハ面白クナイカラト云フノデ、從ッテ増税モ必ズシモ、年々増加致シマスル公債ノ額ニ該當スル利息ハ、ソレダケヲ公債ニ依ラズニ増税ニ依ルト云フハキリシタ目標デハナイノデアリマスルケレドモ、併シ從來モ増税ノ大體ノ目安ハ、尠クトモ利息ハ増税ヲ以テ賄フト云フ建前ニナッテ居リマスノデ、公債ノ利子ヲ公債ヲ以テ賄フト云フコトハ、出來ルダケ避ケル方針デ、ソレガ爲ニ一方増税ノ方ニ重點ヲ置クコトニナッテ居リマス、從ッテ昨日衆議院ニ上程サレマシタ増税法案ノ如キモ、一億八千五百萬圓デアリマスノデ、將來出ルデアラウト云フ軍事費ヤ何ガニ伴フ所ノ公債總額ノ利息ニハ、少シ足ラヌ虞ハアルノデスケレドモ、併シ昨年度ニ於ケル所ノ増税、ソレカラ尙更ニ昭和十二年度、十三年度ニ於ケル増税、色々ナモノヲ見合セマシテ、尠クトモ公債ノ利息ハ公債ヲ以テ拂フト云フコトニハ大體ナラヌ狀態ニナッテ居リマス、尤モ茲ニ提案サレテ居リマスル兌換銀行券整理法中改正法律案、是ナドモ設置致シマシ

テ、茲ニ提案致シテ居リマスヤウニ兌換銀行券ヲ整理致シマシテ、ソレハ從來國債ノ整理基金ニ充テテ居ッタノデアリマスケレドモ、今回ハ整理基金ニセズニ、特別會計ニ繰入レル如ク一般會計ニ繰入レテ、サウシテドウセ赤字公債ヲ多額ニ出スナラバ……一方兌換銀行券ヲ國債整理ニ繰入レテ、又他方デ餘計ナ公債ヲ出スナラバ、結局結論ハ同ジデアルカラシテ、サウ云フ形式ノ二重ノコトヲ省イテ、兌換銀行券ノ整理ニ依ッテ得マシタル整理基金ハ、此ノ際ソレヲ止メテ、ソレダケ全體ノ公債ノ發行總額ヲ少クシヨウト云フ方針ヲ採ッタノモ、此ノ趣旨カラ出マス、從ッテ公債ノ利子ハ出來得ル限リ公債ヲ以テ賄フト云フ方針ハ避ケル方針ヲ採ッテ居リマス

○河田烈君 甚ダ非常ニ細カイ質問デ恐縮デスケレドモ、政府委員ガ居ラレマスカラ、其ノ方ガ宜イカト思ハレマスガ、今私ノ前提ニ申上ゲマシタヤウニ、七億何千萬圓ト云フヤウナ數字ハ是ハ偶然ニ合ッテ居ルノデアッテ、形カラ見ルト云フト、如何ニモ公債費ヲ赤字公債デ拂ッテ居ルト云フヤウニ見エルガ、サウ云フ御趣旨デナイト云フコトハ、私モ萬々推察シテ居ッタノデ、サウア還ノ財源ニ繰入レテ一般會計ノ不足ノ方ヲ

新ラタニ公債ヲ發行スルト云フコトニナリ
マスト、利子ノ差ダケハ僅カデモ出テ來ル
ト思フノデスガ、ソレダカラ、ソレハ過テ
ル方策ダト云フコトヲ申上グル程ノコトデ
ナイノデスカ、其ノ點如何デアリマセウカ
○政府委員(村松光三君) 只今ノ御質疑、

成ル程此ノ頃出テ居リマスノハ皆三分五厘
五分乃至四分以上ノ公債ハ相當殘ツテ居リ
マス、出來ルダケ早イ機會ニ於キマシテ高
利公債ヲ整理スルコトノ宜イコトハ勿論デ
アリマスルノデ政府モ必ズシモ高利公債ヲ
整理シナイト云フ趣旨デハアリマセヌ、此
ノ點ハ大藏大臣カラ度々衆議院其ノ他ニ於
テ御答ヘ申シタ通りデアリマスガ、唯一方
デ巨額ナ公債ヲ出シツ、アル際、他方ニ高
利公債ヲ併セテ借換ヘスルコトハ、公債全
體ノ消化ノ上ニ於テ差支ナイトハ考ヘテ居
リマスガ、マア萬一何等カノ故障ガ起ツテ
モイカヌ、尙高利公債ハ今金額ヲハッキリ
記憶シテ居リマセヌガ、十八億カ、二十億
ソシナモノデアリマスガ、其ノ大半ハ大藏
省關係ノ預金部其ノ他デ持ツテ居リマス、
從ツテソレヲ整理シマシテ低利債ニ借換ヘ
ルコトハ、又大藏省關係ノ通俗ノ言葉デ懷
工合カラ申シマスルナラバ、一方デ利息ヲ
低減シテ行クダケ預金部其ノ他デ收入ヲ得

ルト云フヤウナ形ニナルモノデアリマスガ
ラ、尙銀行其ノ他財界方面デモ高利公債ヲ相
當持ツテ居リマスノデ、之ヲ一時ニ借換ヘル
處置ヲ執ルコトハドウ云フモノカ、先程申シ
マシタヤウニ他方ニ多額ノ公債ヲドシ、
澤山出シツ、アル時ニ、高利債ヲ一遍ニ借
換ヘルト云フコトハ果シテドウカト思フノ
デ、適當ナ時期ヲ見テ是ハ實行シタイ、今
直チニ高利債ヲ一舉ニ借換ヘルコトニ付キ
マシテ色々考慮ヲ煩ハシテ居ルヤウナ次第
デアリマス、繰返シテ申シマスルガ、必ズ
シモソレハ借換ヘナイト云フ方針デハナイ
ノデアリマススケレドモ、一舉ニヤルト云フ
コトニ付キマシテ政府ハ考慮ヲ拂ツテ居ル
ト申上ゲタイノデアリマス、尙先程私ガ増
税額一億八千五百萬圓ト申シマシタノハ地
方ニ交付スル金額デアリマスノデ、表面ノ
金額ハ二億圓ト訂正致シマス、二億圓ノ中
又地方ニ交付スル金額モアリマスノデ、増
税其ノモノハ二億圓デアルト云フコトヲ一
應訂正致シテ置キマス

○河田烈君 只今ノ政府委員ノ御答ハ私ノ
伺ツタコトト少シ喰ヒ違ツテ居ルノデス、私
ノ伺ツタノハソコデハナイノデス、高利債ノ
借換ヲシナイノデヤナイト云フ……併シ今
之ヲ一舉ニ數億ノモノヲ借換ヘルコトハ考
ヘ物ダ、是ハ誠ニ私モサウ思ヒマス、今預
金部其ノ他公共團體ノ公債ヲ所有シテ居ル
關係ヲ御話ニナリマシタガ、是ハ餘計ナ御
節介デスガ、餘リニ實際ハ……サウ御考ニ
ナツテ居ルトハ想像シマスガ、ソレヲ表向キ
ノ理由トサレルコトハ、ソレハ如何カト思
ヒマス、成ル程實際考慮サレタトハ推察致
シマス、併シソレハ姑ク措キマシテ、兎ニ
角何億……十億以上アル高利債ヲ借換ヘル
トナレバ一舉ニ三億位ヤラナケレバナラ
ヌ、何億ト云フモノヲ借換ヘルトハ言フモ
ノノ、兎ニ角新ラシク低利ノ公債ヲ發行シ
テ高利ノ公債ヲ返スト云フノダガ、兎ニ角
ソレダケノ新ラシイ公債ハ低利ノモノガ殖
エルノデスカラ、三億カラノモノヲ借換ヘ
スルト云フコトニナルト、新規ノ公債ノ發行
ニ際シテ市場ニ多少ノ影響ヲ來スト云フコ
トハアラウト思ヒマス、ソレヲ此ノ際非常ニ
大事ヲ取ツテ、巨額ノ公債ヲ發行シナケレバ
ナラヌ非常ノ今日ノ時機ニ於テ、差引利息
ガ得ヲスルカラ數億ノ高利公債ヲ借換ヘヨ
ウト云フコトハムツカシイト思フ、ソレヲ御
考ニナルト其ノ理由ハサウダラウト思ヒマ
スガ、併シソレハ何億ト云フモノヲ借換ヘル
カラ起ル問題デアル、今私ガ第二回目ニ伺
ヒマシタヤウナ質問ハ借換ノ問題デハナイ、借

換ヘナイデ法律ヲ改正セズニ、手ヲ著ケズニ
其ノ儘置ケバ六千萬圓デシタカ、サウ云フ
モノガ償還ノ財源ニ振向ケテ行ケルト云フ
意味デ、ソレデ五、六千萬圓ノモノト雖
モ公債ヲ新ラシク澤山發行シテ居ル時ニ、
國債整理基金ニ繰入レルヨリハ一般會計ニ
振向ケルベキモノデアルト云フ趣旨カラ、
兌換銀行券整理ノ利益ヲ國債整理基金ニ繰
入レシナイデ、一般會計ノ財源ニ充テルト云
フ御趣旨ハ借換ノ問題デハナイ、借換ヲシ
ナイト云フ趣旨デハナイ、併シ今其ノ時機
デナイ、從ツテ高利債ヲ整理スベキ時機デナ
イ、高利債ノ借換ヲシナイト云フノデヤナ
イガ、今ハ其ノ時機デナイ、其ノ時機デナ
イト云フ御趣旨ハ、千萬圓ヤソコヲコト
デ高利ノモノヲ償還シナイト云フ御趣旨デ
ハナイト思フ、二億、三億ト云フモノヲ出
スト新ラシイ公債ノ發行ガ市場ニ影響ヲ來
タス、斯ウ云フ御考カラダラウト思ヒマス、
ソレハ二億カ三億トカト云フモノヲ出ス時
ノコトダラウト思フ、六千萬圓ト云フ程
度ノモノハ國債整理基金ノ方ニ行クノニ、
ソレヲ一般會計ノ財源ニ充テテシマフ、サウ
スルト三分五厘ト五分ノ差ノ一分五厘ト云
フモノガ、六千萬圓ト云フモノニ付テソレ
ダケ差ガ生ジテ來ル、是ハ僅カナモノデス

換ヘナイデ法律ヲ改正セズニ、手ヲ著ケズニ
其ノ儘置ケバ六千萬圓デシタカ、サウ云フ
モノガ償還ノ財源ニ振向ケテ行ケルト云フ
意味デ、ソレデ五、六千萬圓ノモノト雖
モ公債ヲ新ラシク澤山發行シテ居ル時ニ、
國債整理基金ニ繰入レルヨリハ一般會計ニ
振向ケルベキモノデアルト云フ趣旨カラ、
兌換銀行券整理ノ利益ヲ國債整理基金ニ繰
入レシナイデ、一般會計ノ財源ニ充テルト云
フ御趣旨ハ借換ノ問題デハナイ、借換ヲシ
ナイト云フ趣旨デハナイ、併シ今其ノ時機
デナイ、從ツテ高利債ヲ整理スベキ時機デナ
イ、高利債ノ借換ヲシナイト云フノデヤナ
イガ、今ハ其ノ時機デナイ、其ノ時機デナ
イト云フ御趣旨ハ、千萬圓ヤソコヲコト
デ高利ノモノヲ償還シナイト云フ御趣旨デ
ハナイト思フ、二億、三億ト云フモノヲ出
スト新ラシイ公債ノ發行ガ市場ニ影響ヲ來
タス、斯ウ云フ御考カラダラウト思ヒマス、
ソレハ二億カ三億トカト云フモノヲ出ス時
ノコトダラウト思フ、六千萬圓ト云フ程
度ノモノハ國債整理基金ノ方ニ行クノニ、
ソレヲ一般會計ノ財源ニ充テテシマフ、サウ
スルト三分五厘ト五分ノ差ノ一分五厘ト云
フモノガ、六千萬圓ト云フモノニ付テソレ
ダケ差ガ生ジテ來ル、是ハ僅カナモノデス

ガ、何億ト云フモノヲ借換ヘルト云フコトニナルト市場ニ影響スルト云フコトデ、其ノ御議論デソコ迄押シテ行カレト云フコトハ無理デヤナイカト思フ、兌換銀行券整理ノ利益ヲ一般會計ノ財源ニ充テルト云フコトハ惡イトハ申上ガマセヌガ、之ヲ高利債ヲ何億借換ヘルト云フコトト、ソレヲ同一視スルト云フコトハドウカト思フ、其ノ點ハ御考慮ノ上ト思ヒマスケレドモ……

○政府委員(松村光三君) 兌換銀行券整理法中改正法律案ニ依リマシテ、一般會計ニ兌換銀行券ノ整理カラ得ル所ノ此ノ繰入ヲ變更シマスル法案ハ、大體其ノ利得ハ四千萬圓内外ノモノデアリマス、數年來ノ經驗ニ依リマシテモウ是ハ多少ノ準備金ヲ置クナラバ、此ノ兌換券ノ整理ハ差支ナイト云フコトデサウ云フコトニナリマス、四千萬圓位ノモノデアリマスカラ、之ヲ只今御説ノヤウナ高利債ノ償還ニ充テルト致シマシテモ、總額ソレハ四千萬圓バカリノモノデアリマスカラ、ソコデ勿論御説ノ通り其ノ四千萬圓デ以テ高利債ヲ出來得ル限り償還シ、借換ヘルト云フコトハ必要ナコトデアリマスケレドモ、大體四千萬圓見當デアリマスルガ故ニ、是ハ停止シテ、サウシテ之ヲ以テ今ノ整理ヲスル、斯ウ云フコトニ致

シマシタノデ、是ハ私見ニナリマスガ、其ノ金額ガモウ少シ大キイト、マア大キイ小サイト云フコトハソレハ議論ニナルカモ知レマセヌガ、大體四千萬圓内外ノモノデアリマスカラ、ソコデソレヲ國債ノ整理ノ方デナク、一般會計ニ繰入レルト云フヤウナコトニナツタ次第デアリマス

○河田烈君 要スルニ今ノ問題ハ大シタ大キイ金額デナイモノデアリマスカラ、其ノ儘ニシテ置イテモ宜イト云フ議論デアリマスガ、金額ガ僅カナモノデアリマスカラドツチニデモ使ヘルト思ヒマスガ、一ツノ財源別ニ押問答ヲスル必要ハナイカモ知レマセヌガ、此ノ機會ニ、或ハ是ハドコカニ發表サレテ居ルカモ知レマセヌガ、兌換銀行券ノ整理法ニ依ル利益ノ額ハドノ位ニナツテ居リマスカ

○政府委員(入間野武雄君) 兌換銀行券整理法ニ依リマシテ減失シタト認メマシテ政府ノ利得ニナリマス金額ハ、豫算ノ上ニ於キマシテ四千七十一萬八千四百四十九圓ニ相成ツテ居リマス

○河田烈君 チョット伺ヒマスガ、是ハ何年目ニナリマスカ

○政府委員(入間野武雄君) 御承知ノ通り

兌換銀行券整理法制定ガ昭和二年デゴザイマス、十二年ノ整理期間ヲ置キマシテ其ノ後舊兌換券ニ付キマシテハ強制通用力ヲ失ハセルコトニ致シマシテ、其ノ額ダケハ國庫ノ利得、但シ將來強制通用力ハ失ヒマシテモソレハ政府ノ仕拂デアルトカ、或ハ日本銀行ニ於テハ之ヲ引換ヘルコトニ相成ッテ居リマシタ、本年三月三十一日ガ丁度其ノ期限ニナツテ居リマス、ソコデ其ノ時ニ減失シタト認メマスルモノガ大體四千七十一萬八千四百四十九圓デアリマシタ

是ハ一應歳入トシテ立テテ置キマシテ、尙又引換ヘニ來ル分モ多少アルガラウト存ジマス、現ニ實績ヲ見マシテモ昭和十二年中ニハ二百三十萬圓位、ソレカラ昭和十三年中ニハ百七十萬圓位ノ引換ガアリマスルノデ、昭和十四年度ノ豫算ニ於キマシテハ、二百萬圓位ノ引換ガアルモノガラウト豫想シマシテ歳出豫算ニ立テテ居リマス、尙又ソレ以上アル場合ヲ豫想致シマシテ補充費ニ指定致シテ居ル譯デアリマス、尙又前ノ法律ニ依リマシテ其ノ儘ニシテ置キマス

ト、之ヲ歳出ノ方ニハ立テマセヌデ、保管金トシテ日本銀行ニ豫想シテ、渡シテ置ク形ニナツテ居リマス、四千萬圓ノ中、然ラバドノ位アルカト云フコトハ、是ハナカノ

ムツカシクテ計算ガ付キマセヌデゴザイマス、日銀當局ナドニ相談シテ見マシタ處ガ、マア多クテ千萬圓位デハナカラウカト申シテ居リマシタ、從ヒマシテ本當ノ利得ニナリマス處ハ、三千萬圓位デハナカラウカト思ハレマスガ、ソレヲ豫算ノ上ニハ四千七十一萬八千餘圓ヲ計上致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○河田烈君 今ノ御説明デスト、四千萬圓ト云フノハ歳入ニ立テタ金額デアルカラ、是カラ何ト申シマスカ、引換ト云フカ、必要ナル仕拂ヲ差引クト、此ノ四千萬圓ト云フノハ差引イタ純利得金デハナイノデスカ、歳入ニ豫定シタ……

○政府委員(入間野武雄君) 昭和十四年度ノ歳入ニ入レテアル金額デアリマス、純利得金額ハソレヨリ幾ラカ減少スルト思ツテ居リマス

○政府委員(松村光三君) 公債ノ内譯表ハ間モナク到達スルガラウト思ツテ居リマスカ、先程要求ニナツテ居リマシタノハ、兩者合セマシテ二十二億六千萬圓強デアリマス

○藤原銀次郎君 只今御説明ニナリマシタ四千七十一萬圓ト云フモノハ、何箇年間ノ利得デゴザイマスカ

○政府委員(松村光三君) 只今御説明申シ

マシタキウニ、ソレ位ノ利得ガ豫算面ニ計上サレテ居リマスガ、ソレヲ將來引換ニ持ッテ來ルモノガ年々アリマスガ、最近段々其ノ金額ハ減リツ、アリマスルノデ、昭和十四年度ニ於テハ、約二百萬圓整理基金ヲ殘シテ居リマス、將來段々引換基金ハ年々減ッテ參リマスカラ、今後數年ノ間ニドノ位引換ガ來ルカ知レマセスガ、只今銀行局長ガ申シマシタ通りニ尙一千萬圓ハ引換ガアルノデハナイカ、是ハ豫想デアリマシテ、段段減ッテ參リマスカラ、今年度ニ於テハ二百萬圓位ノ引換豫想ヲ置イタラ差支ナイト云フ見當デ二百萬圓ヲ計上シテ居ル譯デアリマス

○政府委員(八間野武雄君) 只今政務次官カラ御説明申上ゲタノデ御了承ト思ヒマスガ、何年間ノ間ニソレダケ出テ來ルカト云フコトデハナイカト拜承致シマシタ、是ハ兌換銀行券整理法ノ第一條ニ、整理スベキ兌換券ヲ指定シテ居リマス、ソレハ明治十八年カラ發行致シマシタ古い兌換券デゴザイマシテ、數十年ニ亙ッテ居リマス金額デアリマス、其ノ整理ノ對象ニナリマシタ兌換券ノ發行サレマシタ總額ガ、今日迄ニ六十八億一千二百萬圓餘ゴザイマス、併シソレガ此ノ法律ノ出來マシタ昭和二年三月三

十一日現在ニ於キマシテハ、十三億一千二百餘萬圓ニ相成ッテ居リマス、其ノ後ニ多少又印刷ノ關係其ノ他デ整理スベキ兌換券ヲ出シマシタモノモゴザイマスガ、結局十二年間ニ整理セラレマシテ、豫算ノ上ニ計上致シマシタ願ガ先程申上ゲマシタ四千七十一萬八千餘圓ト相成ッテ居リマス次第デアリマス

○河田烈君 此ノ機會ニモウ少シ細カク伺ッテ見タイト思ヒマスガ、今兌換銀行券整理ノ減失券ヲ考ヘテ見テ、餘リ少イヤウナ氣ガスルノデスガ、斯ンナモノデスカ、是ハ震災當時ヲ含ンデ居ルンデセウ

○政府委員(松村光三君) マア震災當時、主ニ震災當時ノ減失額ガ主ナモノト想像致シテ居リマス

○河田烈君 ソレカラチョット飛ビマスガ、先刻伺ッタ小額券面ノ發行實額ヲ伺ッタ上ト思ッタノデスガ、今皆サンニ御質問ガナイヤウデスカラ、此ノ機會ニ伺ッテ見タイコトハ、今度支那事件公債、國債ノ發行ニ十圓券ト云フノガ出テ居ナイデ、今度出スサウデスガ、小額額面ノ……サウ申上ゲテハ順序ガ混雜シマスガ、公債ノ價格ダカラ額面ノ如何ニ依ッテ公債相場ト云フモノノ差ハアル筈ハナイ、ナイガ斯ウ云フコトハ實際

起ッテ居リマセスデセウカ、少額額面ノ公國債ハ普通ノ大券ニ比較シテサウアルベキデナイノニ、市場ニ於テ多少少額ノ額面ノ國債ノ相場ト一般ノ公國債相場ト差ガ出テ居ルト云フコトハゴザイマセスカ、アルベカラザルコトデアアルガ、サウ云フ傾向ガ全然ナイデセウカ、モウ一遍具體的ニ申シマスト、公債ノ相場ハ五分利ナラ幾ラ、四分利ナラ幾ラト分ッテ居ルノニ、額面ノ多寡ニ依ッテ……抽象的ニ言ヘバ其ノ額面ノ多寡、伺ヒタイト云フ本當ノ意味ハ、小額債券ノ方ガ相場ガ安イト云フヤウナコトハアリマセスデセウカ、サウ云フコトハ御聞キニナッタコトハアリマセスカ

○政府委員(松村光三君) 今事務當局ヲ呼ビマスガ、唯債券ノ種類ニ依ッテ非常ニ希望者ガ多イモノト、少イモノトハ多少アルヤウデアリマス、從ッテ利廻リニ於テ多少ノ、輕微ナ相違ハナイトハ申上ゲ兼ネマスガ、今ノ小額債券ガ果シテドウ云フ狀態ニナッテ居リマスカ、今事務當局ガ參リマスカラ御答ヘ致シマス

○藤原銀次郎君 私ハ大變幼稚ナ事ヲ御尋ネスルヤウデスガ、此ノ公債發行ニ付テハ政府ハ手數料ハドノ位御拂ヒニナッテ居ルノデスカ、取扱手數料ト云フモノハ……

○政府委員(松村光三君) 今事務當局ヲ呼ビニヤリマシタデスガ、大體今日ノ發行ノ狀態ハ日本銀行ガ皆大體大部分引受、預金部ハ其ノ中一部ヲ引受ケルト云フ形デアリマスカラ、原則トシテ……

○藤原銀次郎君 手數料ハ……

○政府委員(松村光三君) 原則トシテハ無手數料デスガ、特殊ナモノハ引受シマシタ債券ハ一般ノ證券市場ナドデ、多少扱ッテ居リマスガ、其ノ手數料ハドノ位ニナッテ居リマスカ、今事務當局ヲシテ御答フセシメマス

○藤原銀次郎君 一旦日本銀行デ何億ナラ何億、十億ナラ十億ノ公債ヲ引受ケテ、ソレデ今度民間ニ賣出シマス時ニハ民間ノ證券業者ナリ、銀行、取扱業者ニ日本銀行カラ其ノ手數料ヲ拂フノデゴザイマスガ、又日本銀行カラハ手數料ハ拂ハナイノデスカ

○政府委員(松村光三君) 大體日本銀行ハ一旦引受ケマシテ、ソレヲ發行價格ヲ以テ外ノモノガ又賣買サレルモノデスカラ、此ノ間ニ原則的ニ手數料ハナイノデス、併シソレハ公債發行ノ根本問題トシテハ考ヘナケレバナラヌ一ツノ問題デアラウト私ハ考ヘテ居リマス、外ノ外國ノ實例ナドニ依リマス、公債ヲ廣ク頒布シ、之ヲ各方面ニ

持タセルヤウナ場合ニハ、各國デハ此ノ手
數料ノ問題ガアルノデゴザイマス、サウ云
フ點ニ於テマダ日本ノ公債ノ發行ニ付テハ
研究スベキ餘地ガ殘ッテ居ルヤウニ考ヘマ
ス

○藤原銀次郎君 今政府委員ノ仰シヤル通
リ、是ダケノ多額ノ公債ヲ發行シテ今迄二
十圓券ヲ出シ、今度八十圓券迄出シテ、大
イニ公債ノ普及ヲ圖ラウト云フ御趣旨デ以
テ、サウ云フコトニ御盡力ニナッテ居ルトス
レバ、無手數料デ公債ヲ發行スルト云フコ
トハ少シ政府ノ御方針ガドウカト思フノ
デ、矢張り之ヲ民衆化シテ廣ク多額ノ公債
ヲ募集シヨウト云フ御趣旨ナラバ、矢張り
若干ノ手數料ヲ出シテ、サウシテ大衆的ニ
之ヲ持タセルト云フヤウナ工合ニ、中間業
者ヲ總動員シテ御使ヒニナルト云フコトガ
一番近道デハナイカト、チヨット我々カラ見
ルトサウ云フ風ニ思ハレルノデスガ如何デ
スカ

○政府委員(人間野武雄君) 藤原サンノ御
說ハ御尤デアルト存ジマス、只今政務次官
カラモ申上ゲマシタヤウニ、公債ノ殆下全
部ヲ日銀ガ引受ケマシテ、サウシテ一般ノ
有價證券引受業者ト申シマセウカ、證券業
者ノ手ヲ通ジテ賣出シタ場合モゴザイマス、

此ノ兩者ニ付キマシテハ少額ノ手數料ヲ支
拂ッテ、其ノ普及ヲ圖ッテ居ルト了解致シテ
居ルノデアリマス

○政府委員(松村光三君) 銀行局長ガ御答
ヘシタ通りデ、原則ハ日銀デアアルノデアリ
マシテ、極ク僅カナ部分ヲ最近試ミルト云
フト語弊ガアリマスガ、證券業者ニ引受ケ
サセル、將來サウ云フヤウナコトヲ更ニ廣
ク行ッテ、又國民各階層ニ公債ヲ頒布スル方
法ニ付テハ研究ノ餘地ガマダ餘程殘ッテ居
ルヤウニ考ヘラレマスノデ、ソレ等ノ點ニ
付キマシテモ、出來得ル限り早く善處致シ
タイト考ヘテ居リマス

○藤原銀次郎君 私共ハマア實際ノ狀況ニ
暗イノデスガ、此ノ實際ノ狀況ニ暗イ私共
カラ見レバ、公債ヲ一般ノ國民ニ普及シテ
國民ニ公債ヲ持タセヨウトスルニハデス
ネ、今迄ノ政府ノオヤリ方ハ公債ヲ餘リ澤
山發行シナイデ、租稅收入デ以テ歳出ヲ賄ッ
テ行カウト云フ御趣旨ノ時ノ財政計畫デ
アッテ、今日ノヤウニ公債ヲ澤山發行シテ、サ
ウシテ政府ガ一方デハ金ヲ澤山使ッテ、一方デ
ハ使ッタ金ヲ又吸收シテ、サウシテ公債ヲ財源
ニシテ公債政策デ以テ政府ノ財政ヲ賄ッテ行
カウト云フヤウナ斯ウ云フ時代ニナリマス
レバ、モウ少シ公債發行ト云フモノノ方法

ヲ御變ヘニナッテ、サウシテ少シ語弊ハアリ
マスケレドモ、「アメリカ」等デアルヤウニ、
鳴物入りデ公債ヲ國民ニ持タセルヤウナ方
法ヲ御執リニナッタ方ガ普及ノ早道デハナ
イカト思ヒマス、無論國民精神總動員トカ
何トカ云フ道德的ノ獎勵ハ無論必要デアリ
マスケレドモ、道德的ノバカリデナシニサウ
云フ機關ヲ總動員シテ、サウシテサウ云フ
ヤウナ中間業者ト云フモノガ日本ニハ非常
ニ多イノデアリマスカラ、ソナ人間ヲ御
使ヒニナッテ、サウシテ各家庭デモ各工場デ
モ收入ノ多イ、戰時景氣デ以テ少シ景氣ノ
好ササウナ所ヘハ、ドン／＼中間業者ガ行ッ
テ公債ヲ持ツコトヲ勸メルト云フヤウナ、
一ツノ臨時應急ノ手段ヲ此ノ際御執リニナ
ル方ガ、公債消化ノ上カラ云フト宜イノデ
ヤナイカ、斯ウ云フヤウナ氣ガ致シマスガ
ドンナモンデセウカ

○政府委員(松村光三君) 御說ノ通りマダ
公債普及頒布ノ方法ニ付テ考ヘラレル問題
ハ相當アルノデアリマス、唯最近郵便局ノ
窓口其ノ他ニ於テ、郵便局ノ努力モ可ナリノ
努力ヲ拂ヒ、又場合ニ依リマシテハ個々ノ
家庭ニ付キマシテ、隨分郵便局ハ努力シテ
其ノ頒布ニ努メテ居ルヤウナ形デアリマス
ガ、併シ只今御話ノヤウニ米國ノ狀態、又

「フランス」ノ狀態、是ハ國民性ナドニモ依
リマセウガ、「フランス」ノ公債ノ頒布ノ狀態
等ニ比較シマスと、如何ニモ日本ノ公債ノ
頒布ハマダ普及サレテ居ナイト云フコトハ
事實デアリマスガ、是ニハ獎勵ノ方法モマ
ダ足りナイシ、色々殘ッテ居ルコトガアルト
思ヒマスノデ、殊ニ外國ノヤウニ證券業者ヲ
十分ニ利用シ、活動サセルト云フコトモ考
ヘルベキ一ツノ方法ト思ハレマス、彼此ヲ
思ヒ合セマシテ、公債ハ必ズシモ強制頒布
セズトモ、獎勵ノ方法ニ依リマシテハ尙是
カラ廣ク國民各階層ニ持ッテ貰フ、持タセル
ト云フ方法モマダアリ得ルト考ヘマスルノ
デ、ソレ等ノ點ニ付テハ御說ノ通り出來ル
ダケ善處シ、適當ナ方法ヲ講ジタイト考ヘ
テ居リマス

○藤原銀次郎君 尙附加ヘテ御參考迄ニ申
上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、今日所謂
時局景氣ト申シマスガ、一方ニ於テハ物價
騰貴ナドデ生活ニ困難シテ居ル階級モアリ
マスケレドモ、一方ニ於テハ收入ガ殖エテ
非常ニ生活ガ樂ニナッテ、ソレガ爲ニ浪費ヲ
シヨウト云フヤウナ階級モ澤山ニ殖エテ參
リマシテ、其ノ結果又物價ノ騰貴ヲ來スト
云フヤウナ凸凹景氣ニナッテ居ルト云フコト
ハ、一般識者ハ大イニ心配シテ居ル狀態デ

アリマス、是ハマア政府ノ能ク御承知デ御心配ニナツテ居ルコトト存ジマスカラ、例ヘバ花柳界ガ非常ニ景氣ガ好イトカ、或ハ比較的贅澤ノ消費ガ非常ニ盛デアツテ、値段ハ益々高クナルケレドモ、品物ノ需要ハ益々盛ニナルト云フヤウナ、一種ノ變態ノ景氣ヲ呈シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ際ニ當リマシテ色々ノ方法モアリマスケレドモ、私共考ヘル所デハ、サウ云フ時局ノ好影響ヲ受ケテ居ル所ニハ、モウ少シ積極的ニ公債ヲ持ツト云フヤウナコトヲ獎勵スルト云フコトガ宜クハナイカ、ソレデ我々ノ眺メテ居ル所デハ、郵便局カラ公債ヲ持ツヌカト云フヤウナコトヲ言ウテ我々ノ家庭ナドニモ來テ居ルヤウデアリマスケレドモ、郵便局ナドデオヤリニナルコトデハ相當ニ徹底シナイト思ヒマス、生溫ルイト思ヒマス、例ヘバ書面ヲ下スツテ、公債ヲ持テト云フ手紙ヲ出サレルトカ、電話デ以テソナ話ガアルト云フ位ノコトハアリマスヤウデスケレドモ、ソレデハ追付カヌ、モット積極的ニ工場ニ乗込デ行ツテ、サウシテ「ボナナス」ガ殖エタラバ、ソレダケハ公債ニシロトカ、其ノ幾分ハ公債ニシテ貰ヒタイトカ、或ハ給料ノ支拂日ニハ公債ヲ是非買ヘト言ッテ勸メルトカ云フヤウナ工合ニ、證券業者

ナリ仲買ノ業者ト云フヤウナモノヲ使ツテ、是ハ「アメリカ」デ申シマシタナラバ、活動寫眞デモ何デモ持ツテ行ツテ、工場ヘデモ何デモ持ツテ行ツテ、此ノ時局ダカラ、國民ハ皆斯ウ云フ譯ダカラ公債ヲ持テト云フヤウナ工合ニ、マア鳴物入りデドンチヤン騒ギヲシテ要求シテ獎勵スルト云フ譯デアリマセウガ、日本デハマダソレ程迄ニスル必要ハナイト思フケレドモ、併シソコニ専門家ヲ使ツテ若干ノ手数料ヲ拂ツテ、サウシテサウ云フ比較的收入ノ多イ所ニハ特ニ勧誘スルト云フヤウナコトヲナサレバ、モウ少シ公債ト云フモノハ消化シテ普及スルノデヤナイカト、斯ウモ我々カラ見レバ見ラレルノデスガ、是ハ一方カラ見レバ、消費ノ節約ニモナルシ、物價騰貴ノ趨勢モ防グコトガ出來ルシ、同時ニ政府トシテハ公債ヲ普及サセルコトガ出來ルト云フ工合デ、非常ニ都合ガ好イノデヤナイカト、斯ウ思ヒマサガ、ドウモ其ノモウ少シ積極的ニ、公債ヲ法律デ強制スルト云フコトハ無論必要デセウケレドモ、其ノ前ニ強制デナシニ、勧誘的ノ政策ヲ先ゾ執ニナツタ方ガ宜イデヤナイカ、ソレデモマダ生溫クテ效果ガナケレバ是ハ已ムヲ得ナイケレドモ、今ノ儘ニシテオ置キニナツテ、今少シ何ダカ手ガ生溫

イヤウニ思フノデスガ、マア是ハ氣ノ付キマシタコトヲ申上ゲルノデス
○政府委員(松村光三君) 只今藤原サンカラ色々御話ノ通りニ、公債ノ頒布ニ付テハマダ方法ハ殘ツテ居ルト考ヘテ居リマス、唯申上ゲル迄モナク、日本デハ今日迄ノ現狀、國民ガ「フランス」人ノヤウニ廣ク自ラ公債ヲ持ツト云フ習慣ガマダ養ハレテ居リマセヌケレドモ、他方ニ此ノ郵便貯金ガ御承知ノヤウニ急激ナル増加ヲシテ居ルコトハ、此ノ郵便貯金、其ノ他貯蓄銀行ナドノ夥シキ増加ガ預金部其ノ他ヲ通ジテ又公債ヲ所有サレテ居リマスルノデ、從テ形ノ上ニ見マスルト云フト、國民自身ハ公債ヲ持ツテ居ルコトハ誠ニ少ク、又其ノ人員等モ少イヤウニアリマスルコトハ遺憾デアリマスルガ、併シ預金部ヲ通ジテヤツテ居リマスルカラ、從テ國民貯蓄ノ大キナル部分ガ公債ノ消化ニ利用サレテ居ルコトハ、亦申上ゲル迄モナイコトデアリマスガ、併シ只今御説ノ通りニ、郵便貯金、預金部ノ形ヲ通ス外ニ、直接國民ニ持タシムルト云フコトガ公債頒布ノ理想ノ形デアルト云フコトハ、言フヲ俟チマセヌノデ、然ラバドウ云フ方法ヲ以テ之ノ獎勵ノ方法ヲ講ズルカ、「アメリカ」ノヤウナ方法ヲ執ルカ、色々アリマ

セウガ、尙是等ノコトニ付キマシテハ日本ノ現狀ニ即シテ、サウシテ效果のナル方法ヲ案出シテ、公債ノ頒布ニ努メタイト考ヘテ居リマス、從ツテ此ノ「ボナナス」ノ利用ナドニ付キマシテモ、色々考ヘラレル方法ハアルト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ尙十分研究致シマシテ、出來得ルモノヲ能ク實行ニ移シタイト考ヘテ居リマス
○子爵裏松友光君 今ノ問題ニ關聯シテ伺ヒタイノデスガ、公債ノ民衆化ヲ圖ルト云フコトハ誠ニ必要ナコトデアリマシテ、ソレニ付キマシテハ政府モ郵便局ヲ通シテヤルトカ、色々ナコトヲヤツテオイデニナルノデスガ、又他方ニ於テ會社銀行其ノ他サウ云フ所デ、賞與手當ノヤウナモノヲ其ノ幾分ヲ公債デ出ス、是ハ現ニ會社銀行ニ於テヤツテ居ルコトデアリマスガ、ソレヲモット徹底的ニ十分ニ會社銀行ニ於テヤル、殊ニ必需品ヤ何カ造ル、サウ云フ風ナ會社ニ於テハ隨分澤山賞與ヤ何カラ職工其ノ他ニ出スデセウカラ、サウ云フ場合ニ現金ヲヤラナイデ、公債ヲ以テヤル、斯ウ云フコトヲ爲サ イマス、成ル程其ノ公債ヲ貰ツタ者ハ現金ガ慾シイモノダカラ、直グソレヲ郵便局ニ持ツテ行ツテ、現金ニ換ヘルカモ知レマセヌ、併シ全部換ヘナイダラウト思ヒマス、其ノ

中ノ二割カ三割ハサウ云フ風ニ換ヘラレルデアリマセウケレドモ、六割カ七割ハ矢張り公債デ殘ルダラウ、サウスルトソレダケノモノハ公債ガ矢張り民衆化シ普及スルト思フ、此ノ際大藏省ニ於キマシテハ會社銀行、其ノ他サウ云フモノヲ動員ナスツテ、其ノ賞與トカ手當トカ云フヤウナモノヲ成ルベク現金デ渡サナイデ小額ノ公債デ渡ス、全部公債デ渡スト云フコトハ、ソレハ貰フ方デ困リマセウカラ、或ハ二割トカ三割トカ公債デ渡スト云フコトニナスツラドウダラウカ、現ニサウ云フコトハヤッテ居ル所モアリマサガ、私ハサウ考ヘマス、其ノ點ニ付テ政府ノ御考ヲ承リタイ

○政府委員(松村光三君) 只今御説ノ通りニ政府トシマシテモ御話ノヤウナ方法ヲ講ジテ、銀行會社等ニ公債ヲ以テ一部分ヲ支給スルヤウニ獎勵ハ致シテ居リマスケレドモ、御説ノヤウニマダ徹底シナイコトヲ甚ダ遺憾ト考ヘテ居リマス、是ハ御説ノ通りニ成ル程賞與ヤ手當ヲ公債ヲ以テ支給サレマスルナラバ、賣ラレル虞ハアリマスケレドモ、公債ノ利廻ハ三分七厘弱ニ當ツテ居リマスシ、之ヲ一般郵便貯金ヤ貯金銀行ノ預入レト較ベマシテモ、公債自體ヲ持ツテ居ル方ガ、是ハ非常ニ好イ利廻ニナリマスカラ、

是等ノコトヲ考ヘマシテ出來ルダケ頒布シテ、其ノ中一部分ハ市場ニ捌カレテモ大局的ニハ非常ニ效果的ト思ヒマスノデ、唯強制セズニ積極的ニ如何ナル勸誘方法アリヤト云フコトニ付キマシテ、マダ殘ツテ居ル方法ハ色々アルト考ヘマスノデ、只今御説ノヤウナ趣旨ニ從ヒマシテ、政府モ適當ナル方法ヲ案出致シタイト考ヘテ居リマス

○西野元君 此ノ機會ニチョット先刻頂戴シマシタ表ニ付テ、ドナタカ御主任ノ方カラ伺ヒタイ、私ノ御願ヒシマシタ公債發行豫定額ノ調デスガ、此ノ括弧ノ中ニ色々書イテアリマサガ、各年度共前年カラノ繰リ越シノ分ヲ含シタ額ガ各年度ノ豫定額ノ中ニ入ツテ居ルノデアリマセウカラ、其ノ新ナル豫算額ダケヲ、御分リニナツタラチョット伺ツテ置キタイ

○政府委員(松村光三君) 是ハ繰越額ハ含マナイモノデアリマス

○西野元君 サウ致シマス、十二年度末ニ於ケル繰越額ト云フモノハドノ位アリマスカ

○政府委員(相田岩夫君) 只今申上ガ方ガ惡カッタと思ヒマスガ、前年度ノ繰越額ヲ含シタ數字デゴザイマスカラ、左様御下承ヲ願ヒタイト存ジマス、前年度カラ繰越シマシタモノハ九億三千四百六十五萬四千餘圓デゴザイマス

○西野元君 只今御示ノ數字ハドノ年度ニ於ケル繰越額デスカ

○政府委員(相田岩夫君) 十二年度カラ十三年度ニ繰越サレタ數字デゴザイマス

○西野元君 是ハ三十三億九千四百餘萬圓ト二十二億三千萬圓ノ差ト云フ譯デスカ、各年度ノ差ダケガ翌年度ニ繰越サレタモノト承知シテ宜イノデスカ

○政府委員(相田岩夫君) 十二年度ノ豫定額ノ中デ、ドレダケガ前年度カラ繰越サレタ額デアリマスカト云フコトハ、チョット今分リマセヌノデ、直グニ調べテ御答ヘ申上ガマス

○西野元君 只今伺ハナクテモ宜シウゴザイマスガ、御調べ戴キマシテ、若シ各年度ノ括弧内ノ豫定額ト云フモノハ、當該年度ノ豫算ニ計上シタ額ト前年カラノ繰越額ヲ含シテ居リマスナラバ、逐次各年此ノ差額ダケガ繰越サレテ居ルト思ヒマスカラ、昭和十二年度カラノ繰越ヲ伺ツテ置カナイト分リマセヌノデ、チョット數字ダケヲ伺ヒタイと思ツタノデス

○藤原銀次郎君 政府カラ頂戴シテ居リマスル參考書ノ中ノ「三善委員要求一九一」

ト云フ參考書ニ付テデゴザイマスガ、此ノ一冊ニ綴デアリマス中ノ「水谷委員要求八、大藏省(理)」ト云フ表ノ中ニ「昭和六年以降各年末ニ於ケル内國債總額、日本銀行内國債所有額及同上ノ割合調、之ヲ拜見シマス、昭和八年ノ時ニハ六十四億ノ内國債發行ニ對シテ六十億ノ日本銀行ノ所有デアツテ、割合ガ九分四厘、斯ウ云フコトモアリマスケレドモ、平年ハ内國債ノ總發行高ノ約五分以内ガ日本銀行ノ所有ニナツテ居ル、昭和十二年カラ急ニ殖エテ參リマシテ、百五億ノ發行高ニ對シテ日本銀行ノ所有高約十一億、昭和十三年ニハ約百五十億ノ内國債發行ニ對シテ日本銀行ノ所有高ガ十六億ニナツテ居ル、是ハ約一割一位位ニナル、ソコデ、昭和八年ノ時ニハ是ハ特別ノ事情ガアツテ斯ウナツタコト思ヒマスガ、日本銀行ノ公債所有高ガ段々多クナツテ來テ居ルト云フコトハ……澤山ノ公債ヲ發行サレルカラ日本銀行ノ手持ガ多クナルト云フコトモ、是モ當然ノコトデハアリマスケレドモ、兎ニ角餘リ……是デ宜イノカドウカ分リマセヌガ、段々日本銀行ノ手持公債ガ多クナツテ居ルト云フコトハ、此ノ數字デモ分リマス、更ニ又「眞鍋委員要求一六」ト云フ、「日本銀行兌換券發行高、昭和十一、

十二、十三各月別調、之ヲ拜見シマス、
兌換券ノ發行高モ段々殖エテ來マシテ、十三年十二月ハ二十七億ニナツテ居リマス、是ハマア年末デアリマスカラ……是ガ十四年ノ一月ハ二十三億八千萬圓ニナツテ居ル、デ一方ニ於テハ公債ノ日本銀行ノ手持ガ段々多クナツテ來ル、ソレニ比例シテ兌換券ノ發行高ガ矢張りズツ殖エテ參ッテ居ル、此ノ政府ノ參考書類ニ依ッテ見マスルトサウ云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ位ノ程度ナラバ大シテ心配ハナイカトモ思ヒマスガ、併シ傾向トシテハ何ダカ少シ氣味ノ惡イヤウナ感モアルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ一般ノ人ガ此ノ數字ヲ見ルト、何モモノヲ知ラナイカラ直グサウ思フト思フ、是ハ色々ナ説明ナドヲ詳シク聽ケバ安心スルカモ知レマセヌガ、説明ヤ内情ヲ知ラナイ人ハ、數字ダケヲチヨット見セラレルトチヨット額ヲ擧メルヤウナコトニナルノデヤナイカト思ヒマスガ、ソレニ對シテ大藏省ノ御覽ニナル所ヲ率直ニ御説明ヲシテ戴イテ、國民ガ安心スルヤウニシタイト思ヒマスカラ、其ノ御説明ヲ率直ニ一ツ聽カシテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(松村光三君) 只今ノ藤原サンノ御質疑ハ率直ニ申上ゲマスレバ、斯ウ云

フ戰時態勢下デアリマスルカラ多額ノ公債ガ發行サレ、日本銀行所有公債ノ漸次増加シツ、アル傾向ニアリマスルコトハ、併シ昭和十三年ハ是程多額ノ公債ヲ發行シテ居ルニ拘ラズ、日銀所有公債ノ手持ハ、割合ハ多少増加シテ居リマスガ、ソレハ驚クベキ數字ニハナツテ居リマセヌ、昭和十三年度末ハ成程十六億幾ラ、十二年度末ハ一時十八億幾ラニナツテ居リマス、併シ本年一月ニ入リマシテ、又既ニ四億ノ新ラシイ公債ヲ發行シテハ拘ラズ、其ノ中三億五千萬ヲ日銀ガ引受ケタニ拘ラズ、一月末更ニ今月ニ入リマシテ、日銀手持ノ公債ハ寧ろ漸次減少シツ、アルノデアリマシテ、私ノ記憶ニ誤リガナケレバ、最近ノ日銀ノ考課狀、日銀ノ週報ニ依レバ十六億内外ニナツテ居リマス、サウシマスと昨年末ハ十八億ヲ超エテ居ル、其ノ後三億五千萬ヲ日銀ガ引受ケタニ拘ラズ、今日ノ現狀ハ十六億内外デアリマスルノデ、此ノ非常時下ノ公債ノ消化ガ、比較的順調ニ行ッテ居ッテ、昭和十三年度ノ日銀引受ノ八割七分強ガ一般ニ消化サレテ居ルト云フヤウナ形デアリマス、併シソレヲ以テ決シテ満足ガ出來マセヌ、逐次公債ノ日銀所有額ガ殖エツ、アルコトハ勢ヒ已ムヲ得ナイ現象ト思ハレマス、併シ先

程來御説ノ通り出來得ル限り各階級ニ頒布スルト云フ必要ガドウシテモ茲ニ起ッテ來ルノデアリマス、先ヅ大局的ニ申上ゲマスレバ、日銀所有公債額モ豫想程増加シナイコトハ寧ろ慶賀スベキ現象ト考ヘテ居リマス、唯將來益殖エマスカラ、此ノ割合ヲ以テ果シテ消化シ得ルカドウカト云フコトニ付テハ、重ネテ非常ナ努力ヲ要スルト思ヒマス、次ニ兌換券ノ狀態デアリマスルガ、是モ漸次増加ノ傾向ニアリマス、一見此處カラ何カ不安ガアルカノ如ク想像サレルノデアリマセウガ、左様ナコトハナイト信ジテ居リマス、云フノハ日銀ノ兌換増加ノ原因ハ色々アリマスシテ、一ツハ臺灣銀行、朝鮮銀行ノ兌換關係ノ問題ノ爲ニ、日銀ノ兌換ガ増エテ居ル、金額モ少クアリマセヌ、又是ハ十二年來上海其ノ他ノ方面ニ於テ圓ノ持チ出サレタモノモ多少アリマス、其ノ外此ノ急激ナル經濟ノ爲ニ、商取引モ、又産業ノ發展モ夥シイモノガアリマスカラ、從ッテ通貨ノ自然ノ必要ト云フモノモ、是ハ看過スベカラザル増加ヲ必要トスルノデアリマス、此ノ經濟界ノ通貨ヲ必要トスル要求、ソレカラ臺灣銀行、朝鮮銀行ノ準備ニ要スル所ノ通貨ノ膨脹、是等ノモノヲ彼此思ヒ合セマスナラバ、日銀ノ此ノ程度ノ通

貨ノ膨脹ナラバ、此ノ非常時下ニ對處シテ此ノ程度ノ通貨ノ膨脹ナラバ、是ハ驚クコトハナイ、斯ウ考ヘテ居リマスガ、尙通貨ノ膨脹ハ動モスルト財界ニ不安ヲ與ヘマスル原因ニナリマスルノデ、出來ルダケ日銀當局、政府當局モ通貨ノ急激ナル膨脹ノナイヤウニ、公債ノ頒布トカ、政府資金ノ頒布等ニ付キマシテモ、色々考慮ヲ煩ハシマシテ、些少ナリトモ、財界ニ不安ヲ與ヘルコトノナイヤウニ出來得ル限り善處致シタイト云フ考デアリマスガ、大體ニ於キマシテハ此ノ程度ノ事ナラバ、サシテ心配ハナイト斯ウ確信致シテ居リマス

○藤原銀次郎君 政府委員ノ今ノ御説明デ大體ハ政府ノ御考ハ分リマシタシ、私共モ亦今松村次官ノ御説明ノヤウニ心配ガナイト云フ御説デアリマシタガ、心配ガナイヤウニ希望シテ居ル、又心配シタクナイノデ、ソレデ實ハ斯ウ云フ質問ヲ致シマス譯デアリマス、心配ガアルヤウデヤトシンデモナイコトニナル、マア成ダケ心配シタクナイカラ、全然御同感デアリマスカラ此ノ質問ヲ致シマスノデスカラ、ドウモ少シ同ジメ御承知願ッテ置キマスガ、ドウモ少シ同ジヤウナコトヲ繰返サヤウデ恐縮デアリマスガ、昭和十一年ノ方ノ公債ノ發行高ヲ斯ウ

見テ行キマス、十一年以降ラズト見マシテ、サウシテ今日ヲ見ルト云フト、サウスルト先ヅ昭和十一年頃ノ兌換券ノ發行ト今日ノ兌換券ノ發行高ト云フモノヲ大雜巴ニ大體觀察デ、我々ノヤウニ大雜巴ニ議論ヲ致シマス方カラ見ルトチョット倍近クニ兌換券ガナツテ居ル、倍迄ハナツテ居ナイケレドモ、マア大體ニ大體ミデ話ヲ致シマシタラ倍ニナツタト云ッテモ宜イヤウナ、殆ド倍ニ近イヤウニナツテ居ル、兌換券ノ發行高ガ……ソコデ昭和十一年ト今日トデハ經濟界ノ狀況モ大變違ッテ居リマスカラ、兌換券ガ倍近クニナツタカラト云ッテ、大シテ心配ハナイヤウニモ考ヘマシガ、又一方カラ見レバ何ダカ氣持チガ餘リ好イヤウニモ思ハレマセヌ、ソレデ數字ノ上カラ見ルトサウ云フ風ニ見エマスシ、實際ノ方カラ見ルト實際ノ我ガ國ノ今日ノ經濟界ノ現狀ヲ見マスと云フト、ドウモ物價ハ段々騰貴シテ行クシ、サウシテ一方カラ見ルト云フト、浪費ノ階級ノヤウナモノモ相當ニアツタリシテ、各大都會ノヤウナ所トカ、軍需工業ノ關係ガアルトカ、地方ノ農村ノヤウナ所ハ別デアリマスガ、都會地ナドデハ大分此ノ消費ノ節約ト云フコトノ空氣ノ叫バレテ居ルニモ拘ラズ、其ノ反對ノ空氣

モ大分アルト云フヤウナ譯デアリマスノデ、心配ヲスレバ限リモナイヤウデアリマスガ、併シ之ハ樂觀シテ居ル譯ニモ行カヌヤウナ空氣モ見エルノデアリマス、一方ハ兌換券ガ段々殖エテ行クシ、一方ハサウ云フ風ニ經濟界ノ實際ノ狀況ガ斯ウ云フコトニナツテ來ルト云フト、ドウモ我々少シ年ヲ取ッテ苦勞性ニナツタカ知ラスガ、少シ心配ヲスルノデアリマスガ、何トカモウ少シ……無理ナコトデアリマセウガ、一方デハ政府ガ盛行カウト云フノデアルカラ隨分無理ナコトデアルガ、有ラユル方面カラ色々ノ手段方法ヲ以テ進シテ行ク、一方カラバカリデナシニ四方八方カラ手段方法ヲ講ジテ此ノ趨勢ヲ「チエック」シテ國民ノ誰ガ見テモマア大丈夫ダト云フ安心ノ行クヤウナ工合ニシタイモノダト斯ウ思ッテ念願ヲシテ居ル譯デアリマスカラ、ソレデコンナ愚問ヲ提出スル譯デアリマスガ……

○政府委員(松村光三君) 只今成ル程兌換券ノ發行狀態ハ急激デアリマスレドモ、其ノ内容ハ先程申シマシタ通り色々ノ原因ガ重ナリマシテ、茲ニ殖エテ居ルコトハ先程申上ゲタ通りデアリマス、ソレガ物價騰貴ノ問題トドウ云フ關係ガアルカト云フコ

トガ御質疑ノ重點デアリマスルガ、物價騰貴ノ原因ガ通貨膨脹トドウ云フ因果關係ガアルカト云フコトハ、學問上モ實際上モ非常ナ面倒ナコトデアリマスガ、今日ノ物價騰貴ノ問題ハ果シテ通貨ノ原因デアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、ナカノハ疑義ガアリ面倒ナ問題デアリマシテ、寧ロ物價騰貴ノ原因ガ、通貨ノ原因ヨリモ物資供給ノ關係ニ主ニアルノデヤナイカト思ッテ居リマス、無論通貨ノ關係モ看過スルコトガ出來マセスカラ、從ッテ兌換券激増ノ問題モ、出來ル限リハ阻止シナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ點政府トシマシテモ物價ノ騰貴ガ時局ニ於テ一番難問デアリ、一番重大ナ事柄デアリマスカラシテ、通貨側ノ原因カラ來ル物價騰貴ニ付キマシテモ、先程來申上ゲマシタ通り出來得ル限リノ努力ヲ致シマシテ、通貨ノ急激ナ膨脹ノナイヤウニハ努メテハ居リマス、併シ何ヲ申シマスルニモ、殊ニ日本ノ物價騰貴ノ原因ハ、物資供給ノ關係カラ來ル所ガ大デアルト考ヘマスノデ、ソコデ一方生産擴充ノ叫バレル所以モ此處ニアルノデアリマスルガ、ソコデ政府ト致シマシテハ御説ノ通りニ、何トカシテ國民ノ奢侈消費ヲ抑制スル趣旨ヲ以テマシテ、昭和十二年來色々殊ニ此ノ増税

ニ於キマシテハ此ノ點ヲ考慮致シマシテ、昨年度ニ於キマシテモ又今回ノ増税ニ於キマシテモ、物品稅ヲ課シマシタ理由モ此處ニアリマスノデ、殊ニ國民ノ、一般大衆デナイ、少シ奢侈ニ互ル物品ニ付キマシテ、本年度五千六百萬圓、昨年度ト合セマスルト一億圓以上ノ物品稅ヲ課シマスルノモ、是ハ賣上稅ニ非ズシテ、特殊ナ比較的奢侈的ノ物品稅ヲ上ゲマシテ、サウシテ國民ノ此ノ方面ニ於ケル所ノ浪費ト申シマスルカ、消費ヲ多少ナリトモ抑制シタイト云フ趣旨モ其處ニアリマスル、又一方今度ノ増税デ飲食遊興稅ト云フモノヲ課シマシテ、ソレカラ三千五六百萬圓ノ豫算ヲ計上シテアリマスルノモ、結局申シマスルト、飲食遊興稅ノ如キハ果シテ國稅トシテ如何デアラウカト云フ論モアリマスレドモ、要ハ飲食遊興稅ヲ課シマシテ、先程藤井サンカラ度々御話ノアリマス通り、ドウモ時局下ニ相應ハシカラザル遊興モ可ナリアルト存ジマスルノデ、斯様ナ新稅ヲ設ケテ、一方物品稅ヤ此ノ飲食遊興稅、其ノ他ノ方法ニ依リマシテ、國民ノ今ノ奢侈ト申シマスルカ、時局下ニ相應ハシカラザル行動ヲ抑制シヨウト云フ方策ニ出テ居リマス、是等ノ幾多ノ方策ニ依リマシテ、多少ナリトモ物價

騰貴ヲ抑制シタイト考ヘテ居リマスガ、物價騰貴ノ問題ハ結局ハ通貨ノ原因ト需給調節ニアリマスノデ、通貨ノコトハ出來ルダケ膨脹ノ阻止ヲスル方策ヲ講ジ、物價ノ問題ニ付キマシテハ、何ト申シマシテモ是ハ根本ノ問題デアリマスカラシテ、是ハ商工省、大藏省、企畫院協力致シマシテ、物價騰貴ノ抑制ニ善處スル方策ヲ今日迄爲シツ、アリマスルガ、更ニ一段ノ努力ヲ拂フ必要ガアルト考ヘマシテ、目下其ノ方策ヲ講ジツ、アリ、出來ルナラバ今期議會中ニ多少ナリトモ具體的ノ方策ヲ現ハル、コトト承知致シテ居リマス

○藤原銀次郎君 能ク了承致シマシタ

○西野元君 只今ノ御質問ニ關聯シテ、少シ數字ノ御調ガアルナラバ、只今伺ッテモ宜シイノデ、後デモ御示シ願ヒタイト思フノデスガ、只今政府委員ノ御答辯ガアリマシタヤウニ、兌換銀行券ノ發行膨脹ニハ色々原因ガアラウト思ヒマスルガ、御調ノ都合ニ依ッテ上半期ト下半期ニ分ケテ貰ッテモ結構デスガ、各年ニ於ケル日本銀行兌換券ノ平均發行ガ、是ハ御分リニナッテ居ルダラウト思ヒマスガ、其ノ當時ニ於ケル臺灣銀行、朝鮮銀行等ノ準備ニ充テラレタ金額ヲ除キマシタ、一般ノ公衆ノ需要ニ應ズルモ

ノト看做スベキ額ヲ御示ヲ願ヒマシタナラバ、今ノ大體論ニ於テドノ位ニ膨脹シテ居ルカト云フコトガ能ク分ルデヤナイカト思ヒマス、只今政府委員ノ御答辯ノ事情ヲ、數字ノ上デ拜見サシテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(人間野武雄君) 只今ノ數字ハ、取調ベマシテ後日提出致シタイト存ジマス

○藤原銀次郎君 西野サンノ御要求ノ數字ノ中ニ、更ニ斯ウ云フコトヲ附加ヘテ戴キタイト思フノデスガ、若シ御分リデゴザイマシタナラバ、臺灣銀行、朝鮮銀行ノ準備ニ充テテ居リマスル兌換券ノ外ニ、今此ノ北支ナリ中支ナリ、支那ノ方面ニ日本ノ兌換券ガ大分參ッテ居ッテ、新聞等デハ氾濫シテ居ルカ云フヤウナ言葉ヲ用ヒテ居ル位ニ參ッテ居ルサウデアリマス、此ノ方面ニ流通シテ居ル所ノ兌換券ノ高ガ、想像デモ宜シウゴザイマスルガ、見當ガ御付キニナリマシタナラバ、ソレモ附加ヘテ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 朝鮮銀行ト臺灣銀行ノ準備ニナッテ居リマスモノト、北支中支方面ニ擴ガッテ居リマスル紙幣ノ額デゴザイマスガ、是ハ詳細ノ數字ハ何レトツクリ調ベテ御答ヘ致シマスガ、大體合計額一

億五千萬圓見當ト斯ウ踏ンデ居リマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 大藏大臣ガ御見ユニナリマシタカラ、大藏大臣ニ對スル御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藤原銀次郎君 先刻松村次官カラ詳細ニ極ク率直ニ政府ノ御考ヲ承リマシタケレドモ、ソレデ私ハ非常ニ満足シテ居リマスルガ、今大藏大臣ガ御出席ニナリマシタノデアリマシテ、是ハ比較的大キナ問題デアリマシテ、且國民ガ皆心配シテ居ル問題デアリマスノデ、松村次官ノ御話ト同様ナ御話デモ、大藏次官デナシニ大藏大臣カラサウ云フ御話ヲ承ルト云フコトニナレバ、同じ事デモ國民ハ非常ニ安心スルコトダラウト思フノデアリマスカラ、大藏大臣カラ矢張り其ノ御答ヲ願ッテ置イタ方ガ、一般ニハ好影響ヲ與ヘルノデヤナイカト思ヒマス、若シ何ンデゴザイマシタラ私ノ要點ヲ申上ゲマスカラ、大臣カラ御答ヲ承リタイト思フ、ソレハサウ長ク申上ゲナイデモ大臣ハ直グ御分リト思ヒマス、詰リ政府カラ頂戴シタ材料ニ依リマス云フト、國債ノ發行高ハ年々増加シテ、昭和十一年頃カラ十二年、十三年ニ比較シテ激増シテ居ルコトハ御承知ノ通り、ソレカラ又從ッテ日本銀行ノ所有高モ激増シテ行ッテ居ルコトモ、是モ御承

知ノ通りデアリマス、其ノ割合ヲ今迄ハ全體ノ發行高ノ約五分位ガ日本銀行ノ手持デアッタノデアリマスガ、最近ハ一割位、或ハ一割以上ニナッテ居ル、詰リ日本銀行ノ手持ノ公債ノ高ガ激増シテ居ルコトノ事實ハ數字ニ依ッテ、又一方ハ兌換券ノ發行高ガ年々殖エテ行キマシテ、十二年頃カラチヨツト比較スルト、先ヅ大雜把ニ言フト約倍ニナッテ居ル、一方ハ日本銀行ノ手持ノ公債ガ殖エ、一方ハ兌換券ガドシ／＼殖エテ行クカラ、マア他ニ色々ノ事情モアリマセウガ、此ノ數字ダケヲチヨツト見ルト、物價騰貴ノ趨勢ト云フモノハ免レナイト云フヤウニ國民ハ心配ヲシテ、我々ノヤウニ事情ヲ知ラヌ者ハ直グニサウ云フ風ニ心配スルガ、併シ政府カラ御考ニナレバ心配ハ要ラス、斯ウナッテ居ルノデアルカラ、是ハ事情已ムヲ得ズ斯ウナッテ居ルケレドモ、是ガ爲ニ國民ガ物價騰貴ノ心配ヲスルト云フコトハ必要ナインダ、又松村政務次官カラ今懇々ト事情ヲ御説明ニナリマシタガ、多分サウダラウト私共モ思ッテ、又サウ云フ風ニナルコトヲ希望シテ、心配シタクナイカラ、ソレデ政府ノ御考ヲ承リタイト云フコトヲ今申上ゲテ居ッタノデアリマス、丁度大臣ガ御出席ニナッタノデアリマスカラ、國

民ノ皆心配ノ問題ダカラ大臣カラ御話ヲ、我々ノ心配ノ要ヲナイヤウナ御話ヲ承ルコトガ出來レバ、國民ハ非常ニ喜ビマスコトガラウト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 國債ノ發行額

ガ増加致シテ來マス、是ハ戰時財政膨脹ノ結果、其ノ大部分ヲ公債ニ依ッテ居ルノデゴザイマシテ、從ッテ國債ノ發行ガ増加シテ來ルト云フコトハ、是ハ免レナイ所デアラウト存ジマス、其ノ國債ノ發行ガ増加シテ來ルト云フコトニ連レマシテ、國債ノ消化ガ如何デアルカ、國債ノ消化ノ狀況ニ依ッテハ餘程其ノ方面カラ來ル、此ノ貨幣ノ……札ノ増シテ來ルト云フ方面カラ來ル所ノ、物價騰貴ノ關係ト云フモノガ現レテ來ル、斯ウ云フコトハ是ハ免レナイ現象デアルト思フノデアリマス、ソレデ昨年事變以來札ノ増加シテ來ルト云フコト、即チ一面ニ於テハ公債ガ消化シナイ、モタレル狀態ニ相成ルト云フコトニ付キマシテ非常ニ心配致シマシテ、公債ノ消化ノコトニハ色々ナ各種ノ方法ヲ講ジテ來テ居ルノデアリマス、デ幸ヒ私共ノ觀方カラ致シマスルナラバ、今日迄ノ所國債ノ消化ハ順調デアリマシテ、從ッテ其ノ貨幣ノ札ノ増加ノ方カラ來マス所ノ物價騰貴ト云フモノハ、是ハ殆ド起ッテ

居ナイ、若シ其ノ方面カラ來テ居ルモノガアルトシテモ、ソレハ極メテ少イト斯ウ思フノデゴザイマス、物價騰貴ト云フモノノ原因ハ、是ハ私ガ此處デ申上ゲル迄モアリマセス、一方ニハ札ノ増加カラ來ルモノ、詰リ札ト物トノ間ノ比例ノ問題デアリマス、ソレカラ一ツハ其ノ物が不足ジテ來ル、需給ノ關係カラ來ル所ノ物價騰貴、斯ウ云フモノガアルト思ヒマス、サウシテソレデ此ノ物ノ不足カラ來ル所ノ、需給ノ關係カラ來ル所ノ物價騰貴ト云フ問題ニ付テハ、是ハ此ノ事變ノ始リマス寧ロ以前カラシマシテ、相當考ヘラレタ問題デアリマシテ、事變開始以來引續キ此ノ商工省ヲ中心ト致シマシテ、又物價委員會ヲ中心ト致シマシテ、此ノ方面カラ來ル所ノ物價騰貴ニ付テハ、出來ルダケ之ヲ抑ヘルコトニ致シタ次第デアリマス、ソレデ札ノ方面カラ、兌換券流通高ノ消化カラ來マスル方面ノ物價騰貴ヲ防ギマスコトニハ、是ハドウシテモ貯蓄獎勵、消費節約ニ依ッテ金ヲ「ブロック」シテシマフ、詰リ購買力ヲ取去ルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマシテ、此ノ方面ニ付キマシテモ亦此ノ事變始ッテ以來貯蓄獎勵、消費ノ節約、購買力ヲ取ルコトニ盡力ヲシテ居ルノデアリマス、又一面カラ行

キマスレバ昨年モ一昨年モ又今年モ、或ル程度増稅ヲ行ッテ居ルノデゴザイマスガ、是等ノ増稅モ矢張り購買力ヲ取ル働ヲシテ居ルト思フノデアリマス、是等ノ各方面カラシテ物價ノ騰貴ヲ防イデ居ル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルト思フノデアリマス、札ノ問題ニ付キマシテ今御尋ガゴザイマシタ、是ハ併シ御承知ノ通り數年前カラ見マス約倍ニ相成ッテ居ル、斯ウ云フ御尋デアリマス、其ノ通りデアルト存ジマスガ、是ハ一面ニ於キマシテ、數年前ノアノ經濟界沈衰時代ニ於キマスル札ノ流通高ト、今日ノ此ノ經濟狀況ニ於キマスル札ノ流通高、斯ウ云フコトヲ考ヘマスレバ、其ノ「バック」ニナッテ居リマスル經濟狀況ガ非常ニ相違ヲシテ居ルノデアリマシテ、從ッテ札ノ流通高ガ一年ノ間ニ極メテ増加致シマシタ年ニ於キマシテモ、是ハ餘リ物價ニハ關係致シテ居リマセス、ソレハ其ノ背後ニ於ケル所ノ經濟力ガ増進ヲシテ、又物がソレニ依ッテ現レテ來ル、斯ウ云フコトデアリマスレバ、物ト札トノ比例ニ於キマシテ、其ノ比例ガ狂ハナイ限ニ於キマシテハ、殆ド物價騰貴ハ起ラズニ參ッテ居ッタト思フノデアリマス、併シ此ノ最近ノ一年程ノ狀況ニ付テ考ヘテ見マスルト、發行致シマシタ公債ニ付テハ、

昭和十三年ノ計算ヲ御取リ下サルト、八割七分デアリマスカ消化ニ相成ッテ居ルト思フノデアリマスガ、是ハ十二月ノ終ヒニ發行致シマシタ公債ガ相當ゴザイマス、サウシテ其ノ十二月ノ終ヒニ發行シマシタ公債ガ、十二月ノ殊ニ下旬ニ於キマシテハ、各銀行ハ市中ノ資金ノ準備ノ爲ニ公債ヲ買ヒマセス、十二月ガ明ケテ一月ニ相成ッテ來ルト、相當公債ヲ買ッタノデアリマス、從ッテ此ノ十二月三十一日デ丁度切ッテ、公債ノ消化ガ幾ラデアルカト云フコトヲ見ルコトハ、多少無理デアルカトモ存ジマス、ソレデアリマスルカラ一月中ノ公債ノ消化高ヲ見デミマスルト、是ハ一月中ニ四億圓ノ公債ヲ發行シマシテ、五億圓以上ノ公債ガ出テ居リマス、結局十二月ニ買フベカリシモノヲ、一月ニ先ヅ買ッタト、斯ウ云フ結果ニ相成ッテ來ルト思フノデアリマス、ソレデアリマスルカラ此ノ十二月ニ發行致サレテ一月ニ買ハレタ公債ノコトヲ考ヘマスレバ、實ハ九割以上、九割二三分ノモノガ消化致サレテ居リマシテ、結局日本銀行ニ手持トナッタ分ト云フモノハ、六七分ノモノガ日本銀行ノ手持ニナッテ殘ッテ居ルト、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルト思フノデアリマス、六七分ノモノデモ手持トナッテ殘ルト云フコト

ハ面白クゴザイマセヌ、是ハ全部ガ全部消
化致サレマスコトガ望マシイノデアリマス
ガ、併シナガラ其ノ程度ニ於テ殘ルト云フ
コトハ、斯ウ云フヤウナ多額ノ公債ヲ一時
ニ發行致シマス場合ニ於テハ、或ハ已ムヲ
得ナイコトデハナイカト思ッテ居リマシテ、
其ノ以外ニ於テ公債ノ消化ハ極メテ順調デ
アルト思ッテ居リマス、札ノ流通高ニシマシ
テモ、昨年ノ十二月ニ二十八億五千萬ト云
フヤウナ數字ガ出マシテ、大分其ノ時期ニ
於テハ憂慮サレタノデゴザイマスルガ、一月
中ニ於テ七億カラノ回收ガゴザイマシテ、
一月ノ中旬ニ於キマシテハ兌換券ノ發行高
ハ、現ニ二十一億臺ニ復歸シテ居ッタノデゴ
ザイマスガ、二十一億臺ニ復歸シマシテ、
サウシテ朝鮮銀行、臺灣銀行ノ札ガ、大分
北支、中支等ニ行ッテ居リマスル札ノコトヲ
考ヘマスレバ、是ハ餘リ札ノ増加ト云フコ
トハ、前年ニ比較シテ少イ、從ッテ其ノ方面
カラ來ル所ノ物價騰貴ト云フモノガ若シアル
ニシテモ、ソレハ結局少イモノデハナイ
カト、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ヲ致シテ居ル
ノデゴザイマス、併シナガラ札ノ増加ト云
フコトニ付キマシテハ、是ハ將來ノ問題ト
シマシテモ餘程考ヘテ行カナケレバナラス
問題デアルト思ヒマス、又同時ニ斯ウ云フ

ヤウナ財政ヲ行フ場合ニ於キマシテハ、勢
ヒ札ト云フモノハ漸次増加シテ來ルヤウナ
傾向ヲ辿ルト思フノデゴザイマシテ、此ノ
方面ニ付テハ政府トシマシテハ更ニ貯蓄ノ
獎勵、公債ノ消化、其ノ他此ノ購買力ヲ出
來ルダケ制限スル途ヲ考ヘマシテ、一面ニ
於テハ物價騰貴ヲ防ギ、一面ニ於テハ此ノ
札ノ流通ノ増加高ヲ防イデ行ク要ガアルト
存ジマス、昨今ノ日本銀行兌換券ノ増加ガ、
前年ニ比較シマシテ多少餘計ニナッテ居リマ
ス、是ハ一月當時カラ較ベマス、前年ト
比較致シマシテ昨今兌換券ノ發行高ト云フ
モノハ、前年ニ比較致シマスルト一月ヨリ
今月、殊ニ昨今相當増加シテ居リマス、是
ハ一ツノ原因ハ昨年閏ガゴザイマシテ、此
ノ二月ノ十九日ガ舊ノ一月元旦デゴザイマ
ス、此ノ十九日ヲ中心トシマシタ舊節季ノ
金ノ動キガアッタノダラウト思ヒマス、昨年
ノ元旦ハ御承知ノ通り昨年ノ一月中ニ來テ
居ッタノデアリマスガ、今年ハ約二十日後レ
テ居ルト思ヒマス、從ッテ其ノ關係デ昨今幾
ラカ札ノ流通高ガ多イノデヤアルマイカ、
是ハ今月半月バニシマシテ制限外發行ヲシ
タヤウナ現狀デゴザイマスガ、サウ云フヤ
ウナ關係ニアルト思ッテ居リマス、是ハ又サ
ウ云フヤウナ關係ガナクナレバ、再ビ引込ム

モノデハナイカト思ッテ居リマス、又一面昨今
生絲、絹織物其ノ他二三ノ物品ニ付テ多少思
惑ガ行ハレテ居ルノデハナイカト思ッテ居リ
マス、サウ云フヤウナ思惑資金ニ金ガ或程度
廻ッテ居ッテ、サウシテ一面ニ於テハ札ガ減ラ
ヌ、一面ニ於テハ或二三ノ商品ニ付テ著シク
物價ノ急騰ヲ起ス、斯ウ云フヤウナコトデハ、
是ハ戰時經濟全般ノ運用ニモ差支ヘテ來ル
ト思フノデアリマス、此ノ方面ニ付キマシ
テハ、先般思惑資金ノ取締ニ付キマシテ
ハ、金融方面カラモ之ヲ壓迫制限シタイト
云フコトデアリマシテ、ソレノ手當ヲシ
テ居ル次第デゴザイマス、御趣旨ノヤウニ
此ノ兌換券ガ増加シテ來ル、殊ニ急増シテ
來ルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ最も
惡結果ガアルト思フノデアリマシテ、此ノ
點ニ付キマシテハ重ネテ私共ノ方トシマシ
テモ、十分注意ヲシテ行キタイト思ッテ居リ
マス

○藤原銀次郎君 大藏大臣ヨリ率直ニ詳細
ナ御話ヲ承リマシテ、十分ニ政府ノ御考ニ
ナッテ居ル所ヲ諒解致シマシテ、私共モ幾分
安心ヲ致ス譯デゴザイマス、國民モソレ程
心配スル必要ハナイト私共ハ思ッテ居リマス
ガ、果シテ只今ノ御説明デ私共ノ考ヘテ居
ル所ト略、一致シテ居リマスノデ、今後モ矢
張り其ノ點ノ、此ノ公債ノ消化及兌換券ノ
發行高等カラ來ル物價騰貴ト云フモノノ趨
勢ノ成ルベク起ラナイヤウニ、又起ッテモ成
ルベク輕微ナ影響デアアルコトヲ切ニ希望シ
テ居ル譯デアリマスカラ、其ノ點ニ付キマシ
テノ御質問ハ是デ私ハ打切りマシテ、或ハ
午後ニナリマスカ、明日ニナリマスカ大臣
ノ御都合ノ好イ時ニ、只今御話ノアリマシ
タ物資缺乏ニ關係シテ來ル所ノ物價騰貴ノ
問題ニ付キマシテ、是モ非常ニ大キナ問題
デアリマシテ、又一般ニ國民ガ誰ガ言フト
ナシニ皆心配シテ居ル問題デアリマス、又
大キク言ヘバ今日ノ時局ニモ非常ニ影響ヲ
持ツ問題デアリマス、國民生活ノ上カラ言ッ
テモ非常ニ重大ナ問題デアリマス、一步過
テバドンナ所ヘ行クカモ分ラヌヤウナ非常
ニ重大ナ問題ト存ジマスカラ、其ノ問題ニ
付テ改メテ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、
只今ノ質問ハ是デ打切りマス

○委員長(子爵高橋是實君) モウ時刻ニナ
リマシタカラ、今日ハ此ノ程度ニ止メタイ
ト存ジマス、御異議ガナケレバ明朝午前十
時ニ開會致シタイト思ヒマス、デハ今日ハ
是デ散會致シマス

午後零時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵高橋 是賢君

副委員長 男爵深尾隆太郎君

委員

公爵島津 忠承君

侯爵筑波 藤鷹君

伯爵橋本 實斐君

子爵裏松 友光君

子爵綾小路 護君

小幡 西吉君

男爵伊江 朝助君

河田 烈君

西野 元君

若尾 璋八君

稻畑勝太郎君

藤原銀次郎君

野村茂久馬君

吉田羊治郎君

國務大臣

大藏大臣 石渡莊太郎君

政府委員

大藏政務次官 松村 光三君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 松隈 秀雄君